

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第一		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	川端 勉		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
kawabata@ice.uec.ac.jp yanagi@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>情報通信工学科とはどんな学科なのか、また、そこでの基礎教育や専門教育ではどのような教授を行いどのような到達点を目指しているのか等を入学当初の学生に示し、これからの勉学の道程に対して動機付を与えることを目的としている。また、教官と学生とが身近に接することのできる小人数セミナーを通して、教官の学問への取り組み方や教育・研究活動のありようを垣間見る場を作り、学生諸君が専門性を早く認識できるようにガイドすることを意図している。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業は次のような2本建てとなっており、1を終えた後2を実施する。1.全体講義 情報通信工学科は、情報通信基礎学講座、光・波動信号処理学講座、情報通信システム学講座、情報メディア工学講座の4講座より構成されている。そこで、各講座の内容や関連するトピックスについて1週間交代で講義を行う。2.少人数セミナー 受講者は67名のグループに分かれ、グループ毎に各講座内の教官 研究室に6週間(6コマ)に渡って所属し、専門領域に関する入門的・基本的テキストの輪講や、簡単な工作・実験、データ処理や解析、さらに、レポート発表、討論等を行う。具体的内容は担当教官から指示される。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

単位取得のためには、全体講義と少人数セミナーの両方に出席することが必要である。欠席数の多い場合は不可となる。また、少人数セミナーの欠席が多く、セミナー担当教官が不可と判断すれば全体講義全て出席しても、不可となる。優良可の別は、各講義ごとのレポート評価、および各セミナーの評価(レポートや発表の評価)を総合して決定する。

【オフィスアワー：授業相談】

該当するグループを担当する少人数セミナー担当教官に問い合わせること

【学生へのメッセージ】

この授業を通し学科の特色がよく分かるでしょうし、教官と身近に接することによって色々なことが啓発されると思います。履修した場合には途中欠席など決して無いようにして下さい。小人数セミナーに分かれるときの、グループ分け、所属研究室、担当教官、集合場所については、追って掲示等によって知らせます。掲示板をよくモニターしておいて下さい。不明な点は上記世話人まで。

【その他】